

2022 年度
名古屋大学宇宙地球環境研究所
「奨励共同研究」公募要項

1. 公募事項

本共同研究は、大学その他の研究機関に所属する博士課程（後期課程）の大学院生とその指導教員、本研究所の教員とが協力して次の形態の研究を行うものです。

- ①宇宙地球環境に関する共同研究
- ②宇宙地球環境に関する観測機器、ソフトウェアの開発等に関する共同研究
- ③別紙資料「共同利用に関する事項」に掲げる装置、施設等の共同利用

2. 申請資格者

- ①国・公・私立大学の博士課程（後期課程）に所属する学生、もしくは2022年度に博士課程（後期課程）に進学予定の方
- ②本研究所長が特に適当と認めた者

3. 申請方法

- ①本共同研究を希望する場合は、申請前に、研究課題、研究内容、経費等について所属大学院の正式な指導教員と**本研究所の担当教員（特任教員を除く常勤の教員）と十分な打ち合わせをし、指導教員から申請の承認を受けてください。**なお、指導教員1人に対して、申請ができる学生数は新規・継続申請を併せて1人に限ります。また、経費は、共同研究を遂行するために本研究所に所する出張費（交通費・宿泊費・日当）として配分されるものに限りします。
- ②設備、施設等（別紙資料「共同利用に関する事項」参照）の共同利用を希望する場合は、設備、施設等の管理者と事前に十分な打ち合わせをし、本研究所の定常的な業務に支障が出ないように注意してください。
- ③共同研究の申請に当たっては、本研究所共同利用・共同研究のサイト（<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/co-re-application.html>）でログインIDの取得が必要です。過去にログインIDを取得された方は、同じIDで今年度もログインが可能です。新規に申請される方は、ログインID申請後、パスワード発行のe-mailが届きます（このe-mailのスパムメールへの振り分けにご注意ください）。取得したIDでログインした後、「奨励共同研究」欄から申請に必要な事項の入力を行った後に、申請締め切り日までに申請手続きを完了させてください。
- ④研究代表者としての「奨励共同研究」カテゴリでの申請課題は、**1人1件**とします。
- ⑤継続申請の研究課題については、申請書に本年度までの研究の進捗状況を記入してください。
- ⑥第4期中期計画期間（2022-2027年度）においては、共同利用・共同研究の多様化と新たな展開を目指し、**申請者による提案型の「融合研究」「萌芽研究」**を積極的に支援します。宇宙科学と地球科学、あるいは他の分野との融合、新しい分野の開拓を通して、これまで実現できなかった課題（グランド・チャレンジ）に挑戦する提案を歓迎します。これらの「融合研究」「萌芽研究」の申請課題は審査を通して優先的に採択され、配分額の割合が高くなる可能性があります。この提案を行う場合には、申請書の該当欄に番号（「融合研究」の場合は1、「萌芽研究」の場合は2）を入力し、具体的な内容を記載してください。

4. 研究期間

研究期間は、2022年4月1日から2023年3月31日までとします。

継続申請の場合、研究期間は3年以内とします。ただし、継続申請を毎年度提出していただき、採否の決定をします。

5. 申請期限

2022 年 1 月 15 日 期限厳守

6. 審査

- ①採否は、共同利用・共同研究委員会専門委員会（総合解析、太陽圏宇宙線、電磁気圏、大気陸域海洋、年代測定、航空機利用）及び共同利用・共同研究委員会の審議を経て、本研究所長が決定します。
- ②共同利用・共同研究委員会専門委員会は、必要に応じて研究代表者から説明を聞くことがあります。
- ③審査結果については、2022 年 3 月下旬までに、研究代表者あてに e-mail で通知します。

7. 所要経費

- ①本共同研究の申請経費は、1 件あたり 20 万円以下とします。
- ②共同研究に必要な経費（旅費に限る）は、予算の範囲において配分額が決定されます。
- ③共同研究に必要な旅費は、原則として精算払いとなります。
- ④旅費は原則として、本研究所（観測所を含む）と共同研究機関との往復とさせていただきます。

8. 研究報告書

本研究所は大学附置の共同利用・共同研究拠点の研究所であり、本共同研究は、共同利用・共同研究拠点として重要な役割を果たしています。年度毎に本研究所のホームページ上でも公開します。また、採択された研究課題については、研究計画や研究成果を本研究所が主催する研究集会等で発表していただくようお願いいたします。本研究所共同利用・共同研究のサイトの「奨励共同研究」欄から報告書作成に必要な事項の入力を行った後に、報告書の提出締め切り日までに提出手続きを完了させてください。

- ① 「奨励共同研究」の報告書（別紙様式 5-1：エクセル形式、5-2：ワード形式）を作成し、実施報告登録時にアップロードしてください。別紙様式 5-2 は、図表等を含めて A4 サイズ 1-2 枚程度になるように作成してください。提出原稿は、製本用原稿としてそのまま公開されます。
- ② 同研究の成果に関する論文等を公表したときは、新規／継続にかかわらず速やかにその電子ファイル（PDF）を「9. 問い合わせ先」へ提出してください。
- ③ 共同研究の成果について論文を発表する場合は、当該論文の謝辞(acknowledgements)の欄に本研究所の共同研究による旨を付記してください。参考として、次の例文を挙げておきます。
 - This work was carried out by the joint research program of the Institute for Space-Earth Environmental Research (ISEE), Nagoya University.
 - This work was performed using the facilities of the Institute for Space-Earth Environmental Research (ISEE), Nagoya University.
- ④ 報告書の提出期限は、2023 年 3 月 31 日とします。
- ⑤ 期限までに報告書が提出されない場合、原則として翌年度の採択は取り消しとなります。

9. 問い合わせ先

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学研究協力部研究事業課研究事業係
TEL:052-789-5464 FAX:052-788-6254
e-mail : k-kyoten at* adm.nagoya-u.ac.jp
(at* を@に変更してご使用ください)

10. 共同利用・共同研究によって生じた知的財産権の取扱い

共同利用・共同研究の実施により生じた知的財産権の取扱いは、名古屋大学共同研究規程を準用します。

学術研究・産学官連携推進本部ホームページ：

<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/index.html>

(別紙資料)

共同利用に関する事項

[] 内は管理者

詳細はホームページ https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/co_re.html をご覧ください。

(1) 観測機器

多方向宇宙線ミュオン望遠鏡 (東山)	[松原 豊]
多地点 IPS 太陽風観測システム (豊川、富士、木曽)	[徳丸宗利]
ELF/VLF 帯電磁波観測ネットワーク (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ISEE磁力計ネットワーク (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ISEEリオメータネットワーク (海外の多点観測)	[塩川和夫]
超高層大気イメージングシステム (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ナトリウム温度・風速ライダー (トロムソ)	[野澤悟徳]
MFレーダー (トロムソ)	[野澤悟徳]
5 波長フォトメータ (トロムソ)	[野澤悟徳]
流星レーダー (アルタ)	[野澤悟徳]
SuperDARN北海道-陸別第1・第2短波レーダー (陸別)	[西谷 望]
ゾンデ観測システム (2式)	[坪木和久]
X-bandマルチパラメータレーダー (2式)	[坪木和久]
Ka-band雲レーダー	[坪木和久]
HYVIS/ビデオゾンデ受信機	[坪木和久]
大気組成赤外干渉分光器 (陸別)	[長濱智生]
海上波しぶき光学粒子計	[相木秀則]
低バックグラウンドベータ線計数装置	[栗田直幸]
水の安定同位体分析装置 (Picarro L2130-i)	[栗田直幸]

(2) ソフトウェア／データベース

ひのでサイエンスセンター@名古屋	[草野完也]
ERG サイエンスセンター	[三好由純]
磁気圏総合解析データベース (THEMIS 衛星他)	[三好由純]
磁気圏 MHD シミュレーション	[梅田隆行]
運動論プラズマシミュレーションコード	[梅田隆行]
宇宙線強度データベース	[松原 豊]
惑星間空間シンチレーションデータ	[徳丸宗利]
太陽風速度データ	[徳丸宗利]
れいめい衛星観測データベース	[平原聖文]
ISEE 磁力計ネットワーク観測データ (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
超高層大気イメージングシステムデータ (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ELF/VLF 帯電磁波観測ネットワークデータ(国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ISEE リオメータネットワークデータ (海外の多点観測)	[塩川和夫]
オーロラ全天カメラデータ(カナダ、アラスカ、シベリア)	[塩川和夫、三好由純]
VHF レーダー／GPS シンチレーション (インドネシア)	[大塚雄一]
EISCAT レーダーデータベース	[野澤悟徳、大山伸一郎]
SuperDARN 北海道-陸別第1・第2短波レーダーデータ	[西谷 望]
雲解像モデル (CReSS)	[坪木和久]
大気組成赤外観測データ (母子理、陸別)	[長濱智生]
二酸化窒素・オゾン観測データ (母子理、陸別)	[長濱智生]
衛星データシミュレータ (SDSU)	[増永浩彦]
大気海洋中の波動エネルギー伝達経路解析コード	[相木秀則]

(3) 施設等

統合データサイエンスセンター計算機システム(CIDAS システム)

[増田智、梅田隆行、三好由純]

機器校正用イオン・電子ビームライン

[平原聖文]

飛翔体搭載機器開発用クリーンルーム環境

[平原聖文]

元素分析計・質量分析計

[三野義尚]

タンデトロン加速器質量分析装置

[北川浩之、南 雅代]

CHIME 年代測定装置

[加藤丈典]

蛍光エックス線分析装置

[加藤丈典]

エックス線回折装置

[加藤丈典]

母子里観測所

[水野 亮]

陸別観測所

[水野 亮]

富士観測所

[徳丸宗利]

木曽観測施設

[徳丸宗利]

鹿児島観測所

[塩川和夫]